

発生動向の概況

インフルエンザの患者報告数は、第 37 週 32 例 (A 型 28 例、不明 4 例)、第 38 週 41 例 (A 型 32 例、不明 9 例) と中予、南予地域で散発しています。第 37 週に今シーズン (9 月 3 日以降) 初めて、松山市内の 1 施設から学級閉鎖の報告がありました。これからの流行期に備え、早めのワクチン接種や咳エチケット、外出後の手洗いなど感染予防を心がけましょう。

RS ウイルス感染症の定点当たり報告数は、第 37 週 5.5 人、第 38 週 3.5 人と依然として多い状態で推移しています。特に、今治保健所で多い状態です。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行し、咳やくしゃみなどの症状がある方はマスクを着用しましょう。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の届出が 1 例 (今治保健所管内在住) ありました。野山や畑に入る場合はマダニに効果のある防虫スプレー (DEET 含有) を使用するなど、マダニに咬まれないよう注意しましょう。

風しんの届出が 2 例ありました。全国では 2018 年第 37 週までの患者報告数が 642 例となり、男性 (532 例) に多く、そのうち 30~40 歳代が 62% を占めています。主な症状は、発熱、発疹、リンパ節の腫れであり、免疫のない女性が妊娠初期に感染すると、生まれてくる子どもが**先天性風しん症候群** (難聴、心疾患、白内障など) を発症することがありますので、注意が必要です。予防にはワクチンの接種が有効ですので、この機会に予防接種 (有料) を受けましょう。なお、妊娠を希望する女性やその配偶者などの同居者に限り、県内各保健所において免疫状態を調べる抗体検査を無料で受けることができます。気になる方はご相談ください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

- 二類感染症 : 結核 3 例
- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例 (O91 : 30 歳代男性)
- 四類感染症 : 重症熱性血小板減少症候群 1 例 (70 歳代男性、県内累計 29 例)
マラリア 1 例 (三日熱マラリア、30 歳代男性、海外での感染)
- 五類感染症 : カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例 (70 歳代男性)
梅毒 3 例 (20 歳代男性、20 歳代女性、40 歳代男性、2018 年県内累計 53 例)
播種性クリプトコックス症 1 例 (80 歳代男性)
百日咳 7 例 (男性 : 10 歳未満 2 例、40 歳代 1 例、女性 : 10 歳未満 1 例、10 歳代 1 例、60 歳代 1 例、70 歳代 1 例)
風しん 2 例 (20 歳代男性、40 歳代男性)

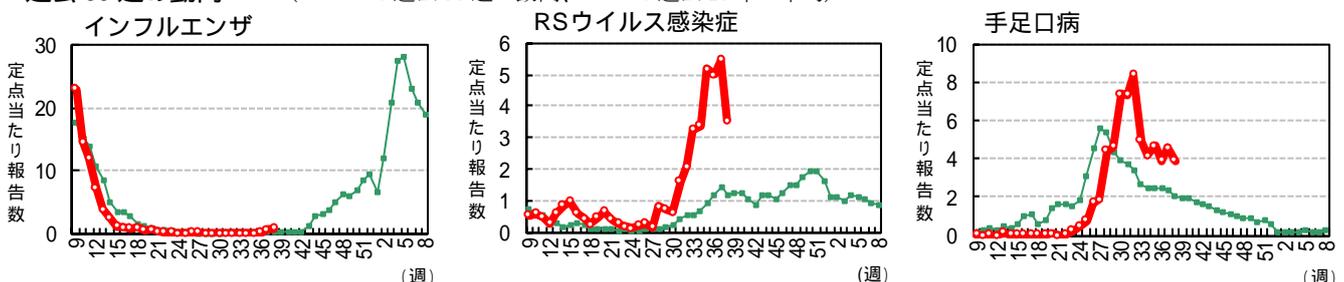
定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	→ 0.7	横ばい。
RS ウイルス感染症	↘ 3.5	急減。県内全域で多い。特に今治保健所で多い。
手足口病	↘ 3.9	減少。中予、八幡浜保健所で多発。今治、松山市、宇和島保健所で多い。

解析評価委員のコメントから

- インフルエンザ** : [東予] みられません。 [中予] 小学校で A 型の集団発生がありましたが、散発例もみられるようになってきました。 [南予] この 2 週間多発していますが、今週に入って若干減ってきた感じがします。全て A 型です。
- RS ウイルス感染症** : [東予] やや減少気味ですがまだ流行っています。
[中予] 横ばい状態で引き続きみられます。
[南予] 当院ではここ数週間 4~5 名の RS ウイルス感染症患者の入院が続いています。
- 手足口病** : [東予] まだみられます。 [中予] 増減があり、多くはありませんが引き続きみられます。 [南予] 結構多発しています。

過去 30 週の動向 (○ : 過去 30 週の動向、● : 過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成30年9月25日現在

感染症流行予測調査事業の1つであるブタの日本脳炎ウイルス抗体調査の結果を右表に示しています。9月17日に採血したブタは全てHI抗体陰性でした。なお、平成30年7月豪雨災害の影響により、今年度の調査は今回のみとなります。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体 ²⁾	
			検査件数	陽性数
9月 17日	10	0	-	-

1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性とします。

2) 最近感染したかどうかわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

第35週及び第36週に西条及び松山市で採取された手足口病患者検体からコクサッキーウイルスA16型が2例、四国中央で採取された発疹症患者検体からコクサッキーウイルスA9型が1例検出されました。

第37週及び第38週に松山市で採取されたインフルエンザ患者検体が搬入され、現在検査中です。また第37週に今治で採取された手足口病患者検体2検体からエンテロコクサッキーウイルスが分離され、現在同定中です。

過去5週 検出病原体

(2018年8月20日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
35	8/27~9/2	西条	手足口病	コクサッキーA16	咽頭ぬぐい液	1
36	9/3~9/9	四国中央	発疹症・不明発疹症	コクサッキーA9	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	手足口病	コクサッキーA16	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2018							合計
		4	5	6	7	8	9		
ウイルス	コクサッキーA2		1	4				5	
	コクサッキーA9				2		1	3	
	コクサッキーA10			2	4	1		7	
	コクサッキーA16			1	8	3	1	13	
	エコー4			1	1			2	
	エコー18				2			2	
	ライノ			2				2	
	インフルAH3	7	1					8	
	インフルB(山形)	1						1	
	ロタ	2	3					5	
	ノロ	8	2					10	
	サポ				1			1	
	アデノ	1						1	
	アデノ2				1			1	
アデノ3			1				1		
アデノ54					1		1		
ウイルス計		19	7	11	19	5	2	63	
細菌	カンピロバクター		2					2	
	A群溶レン菌	2	1					3	
細菌計		2	3					5	

臨床診断別検出結果 (2018年7月以降採取検体)

検出病原体	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	発疹症・不明発疹症	合計
コクサッキーA9						3	3
コクサッキーA10		2	2			1	5
コクサッキーA16		11			1		12
エコー4					1		1
エコー18						2	2
サポ	1						1
アデノ2		1					1
アデノ54				1			1
ウイルス計	1	14	2	1	2	6	26

注) 表中の検出数は9月25日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2018年 第37週 (2018.9.10～9.16)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 1週前 2週前 3週前 年齢別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 ⁵⁾ 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 ⁶⁾ 80-	
	インフルエンザ	1)		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)
		迅速検査A型	迅速検査B型																				
四国中央				10	1	1	25	2	2		3	3			-	-							四国中央
西条	1	1		47		12	49	2	16		8	2	3			2							西条
今治				82	4	24	11		24	3	1	3			7	1				2			今治
松山市	7	6		28	4	12	65	8	48	1	7	7			4	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予				4		6	6	1	25	1	3	3			2								中予
八幡浜	7	4		15		8	17		44			7			6					9			八幡浜
宇和島	17	17		16		2	9	5	10			1											宇和島
愛媛県	32	28		202	9	65	182	18	169	5	22	26	3		21	1				11			愛媛県
1週前	11	10		185	4	58	178	5	143	2	19	25	5		12					2			1週前
2週前				191	3	64	158	8	172	3	29	30	2		10		1			4			2週前
3週前				125	7	65	128	3	154	1	24	34	6		17					2			3週前
0-5ヶ月				29	1		6																0
6-11ヶ月				31	2		15	1	8		7	3				1				7			1-4
1				57	2	6	30	5	49	1	14	8			1				3			5-9	
2				41		3	28		33			6			1				1			10-14	
3	1	1		21		11	21	2	26		1	3			1							15-19	
4	3	3		16	1	7	14	4	17			2										20-24	
5	2	2		6		9	14	1	14	2				1	2							25-29	
6	2	2				7	11	3	9					1	1							30-34	
7	1	1		1	1	5	7		5													35-39	
8	1					5	3	2	3													40-44	
9	3	3			2	3	5		2	1		1	1									45-49	
10-14	8	7				6	15		3													50-54	
15-19	5	5				1	6								1							55-59	
20-29 ⁵⁾						2	7								1							60-64	
30-39	1	1													3							65-69	
40-49	1	1													3							70-	
50-59	1	1													2								
60-69	1	1													3								
70-79 ⁶⁾															2								
80-	2																						

定点当たり報告数

四国中央		-	-	3.3	.3	.3	8.3	.7	.7		1.0	1.0		-	-								四国中央
西条	.1	-	-	7.8		2.0	8.2	.3	2.7		1.3	.3	.5		2.0								西条
今治		-	-	16.4	.8	4.8	2.2		4.8	.6	.2	.6			7.0	1.0			2.0				今治
松山市	.4	-	-	2.5	.4	1.1	5.9	.7	4.4	.1	.6	.6			1.3	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予		-	-	1.0		1.5	1.5	.3	6.3	.3	.8	.8			2.0								中予
八幡浜	1.0	-	-	3.8		2.0	4.3		11.0				1.8		6.0					9.0			八幡浜
宇和島	2.4	-	-	4.0		.5	2.3	1.3	2.5			.3											宇和島
愛媛県	.5	-	-	5.5	.2	1.8	4.9	.5	4.6	.1	.6	.7	.1		2.6	.2			1.8				愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	1

注) 表中の報告数は9月19日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2018年 第36、37週 (2018.9.3～9.16)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	
36週	愛媛県	.2	5.0	.1	1.6	4.8	.1	3.9	.1	.5	.7	.1		1.5				.3		
	近畿県	香川県		4.1	.3	1.3	4.8	.3	1.1		.9	2.1	.4		1.8		.2			
		徳島県		4.5	.2	.7	4.2	.1	.9	.1	.5	1.4							.3	
		高知県	.2	3.1	.6	.9	1.5	.2	2.0	.2	.4	1.7	.1		1.7				.4	.1
	全 国	.1	2.4	.3	1.3	3.7	.2	1.1	.3	.5	1.7	.1	.0	.9	.0	.0	.0	.2	.0	
	北海道		.8	.2	1.6	1.0	.3	3.6	.0	.4	2.4	.1		.3				.2		
	東北	.0	2.4	.2	1.3	2.9	.1	1.7	.5	.5	4.2	.2		.5				.5		
	関東	.1	1.7	.3	1.5	3.7	.2	.9	.8	.5	1.4	.1	.0	1.1		.0	.0	.3		
	甲信越北陸	.0	2.6	.4	1.6	3.9	.2	.7	.2	.4	2.6	.1	.0	.4		.0	.0	.3		
	東海	.1	2.1	.3	.8	3.1	.2	.5	.1	.4	1.2	.1	.0	1.0	.1	.0	.1	.3		
近畿	.0	2.9	.2	1.0	3.5	.2	.8	.1	.4	1.2	.1		.5	.0	.0	.0	.1			
中国四国	.1	3.0	.2	1.4	4.1	.2	1.4	.0	.5	.9	.1		1.0	.0	.0	.0	.1	.0		
九州沖縄	.2	3.6	.7	1.6	5.9	.3	1.3	.1	.7	1.5	.2		1.9	.0			.1			

(9.12集計)

37週	愛媛県	.5	5.5	.2	1.8	4.9	.5	4.6	.1	.6	.7	.1		2.6	.2			1.8		
	近畿県	香川県		5.6	.5	1.1	4.6	.0	2.3	.1	.7	3.6	.1		.6		.2			
		徳島県	.0	5.6	.2	.6	4.1	.1	.9	.0	.7	1.7								
		高知県	.2	4.0	.6	.7	1.3	.0	1.2	.4	.2	2.5			4.3				.4	
	全 国	.1	2.5	.4	1.4	3.7	.2	1.1	.3	.4	1.4	.1	.0	1.1	.0	.0	.1	.2	.0	
	北海道	.0	1.0	.2	1.7	1.1	.3	3.1	.0	.3	2.2	.1		.5			.1	.3		
	東北	.0	2.7	.2	1.3	2.6	.3	1.7	.4	.4	3.8	.1		.8	.0		.0	.7		
	関東	.1	1.7	.4	1.5	3.5	.2	1.0	.7	.5	1.2	.1	.0	1.1		.0	.0	.2	.0	
	甲信越北陸	.0	2.7	.5	1.6	3.9	.2	.7	.3	.4	2.1	.1	.0	.7			.0	.2	.0	
	東海	.2	2.3	.3	.8	2.9	.1	.5	.1	.3	1.2	.1	.0	1.0		.0	.2	.3		
近畿	.1	2.8	.3	1.1	3.5	.3	.8	.1	.4	.9	.1		.8	.0	.0	.0	.2			
中国四国	.1	3.3	.3	1.6	4.3	.2	1.5	.1	.5	1.1	.1		1.2	.0	.0	.0	.2			
九州沖縄	.2	3.4	.7	1.8	5.8	.3	1.3	.1	.6	1.2	.3		2.1	.0	.0	.1	.0			

(9.19集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

